

令和2年11月30日

おおさかしりついちおかしょうがっこう
大阪市立市岡小学校
校長 中谷 和博

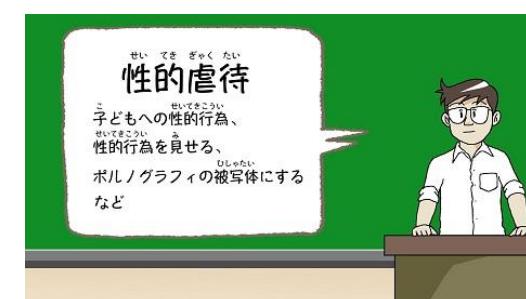
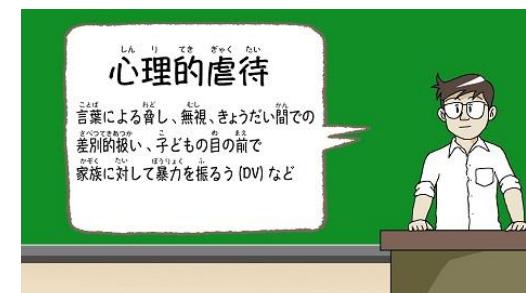
11月は、「児童虐待防止推進月間」です。(Vol. 3)
一高学年用DVDの内容をお知らせします



みんな、学校に貼ってあるオレンジリボンというポスターが配布されたカードは見ましたか。思が込められたポスター やカードです。

児童虐待というは殴る、蹴る、叩くなどの身体的虐待、言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱いなどの、心理的虐待

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にするなどのネグレクト、子どもへの性的行為や、性的行為を見せるなどの性的虐待、これらの四つのことを指します。



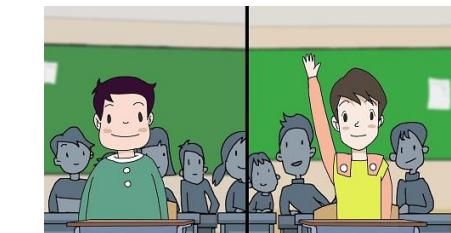
児童虐待とは子どもの安全安心を奪うもので絶対に許されることではありません。また、どんな理由があろうとも子どもは決して悪くありませんし、子どもに苦しみを与えることは許されません。

みんなはこの児童虐待って言葉を聞いたことはありますか。

「テレビで言うた。お母さんから聞いたことある。」

ニュースでもよく話題になっていますね。以前あった小さな女の子がおうちの人から怪我をしても、病院にも連れて行ってもらえず、ご飯も食べさせてもらえて死んでしまった事件を聞いたことはありますか。これは児童虐待です。

それではこんな場合はどうですか。みんなが家に帰ってお母さんから宿題しなさいと言われたのにしませんでした。お母さんは、怒って頭をげんこつで叩きました。これを見てみんなはどう思いますか。



「怒られても仕方ないことやと思います。」

「僕のところはお母さんがしつけと言って叩いてくるねん。」



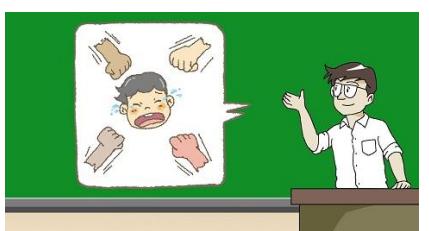
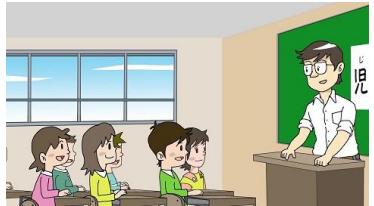
色々な考え方がありますね。今、しつけという言葉が出たけど、みんなは、しつけって何か知っていますか。皆さんはまだ子どもですが、大人になったら自分のことは自分でやらないといけません。今のうちにその時に必要なルールを身につけておくことが大切です。その正しいやり方を教えることがしつけです。

宿題をしていなくて叩くなどの暴力はしつけではなく、れっきとした虐待です。みんなは叩かれたらどう思いますか。

「そんなんこわい」

「痛いのはいやや」

そうですね。それに叩かれて怖いっていう思いがあると、叩かれないように本当のことを隠して嘘をついてしまうことにもつながっていくのです。初めはげんこつだったとしても、どんどんエスカレートしていくこともあります。また言うことを聞かせるためにげんこつを使うようになると、それがいつのまにか酷い虐待につながる可能性も高く、とても危険なことですよね。このように、しつけだからといって叩くことは身体的虐待になるので覚えておきましょう。



じやあ次は少し違う質問です家でお父さんとお母さんがよく喧嘩をして怒鳴り合っています。時にはリモコン投げたり、お父さんがお母さんを叩いたりしたこともあります。こういう時みんなはどう思いますか。

「それってただのけんかとちがうの？」

ただのけんかに見えますが、これはお家の中で起きる暴力です。みんなは自分の家の中で「暴力」があったらどう思いますか。



「そんなんいやや」「そんなん怖い」
そうですね。家の中で暴力が起こるのは怖いし、嫌な気持ちになりますね。

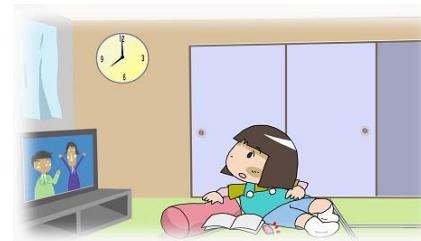
そんな風に、みんなが嫌な気持ちになること自体が、虐待にあたります。親が子どもに直接暴力を振るったり、暴言を吐いたりしていなくても、暴力を見たり怒鳴り声を聞いたりすることで子どもが恐怖を感じて、心にいつまでも嫌な気持ちが残ることになります。

それにもし目撃していなかったとしても、暴言や暴力が家の中である場合は、これから子どもが目撃する可能性も高くなりますよね。そうすると、子どもの心に悪い影響を与えた

り、家にいるとドキドキして眠れなくなったり、イライラして友達と喧嘩をすることが増えたりして、暴力が新たな暴力を引き起こす可能性があるということなんです。みんなも、もし家でお父さんお母さんが怒鳴りあったりしていて、怖くて家に帰りたくないっていうことがあったりしたら、先生に話して

ほしいです。一緒にどうしたらいいか考えましょう。黒板に書かれているようなことは心理的虐待にあたります

つぎ
次に、ネグレクトです。このネグレクトというのは例えば、



家族の人が夜遅くまで帰ってこなくて一人でご飯を食べていたり、病気なのに病院に連れて行ってもらえないかったりする子のように、子どもの安全や健康にお家の人が気をつけていない状態のことをネグレクトと言います。

はじめにも言いましたがこれらは決して子供が悪いわけではありません。

さいご
最後に性的虐待について説明します。

「プライベート-parts」っていう言葉があります。プライベートpartsというのは、口と水着で隠れる胸と性器のことです。この三つの部分は、体の中でも特に大切な部分です。

みんなはこれから体も大人に向けて変わっていく時期です。だからもう一度自分の体を大切にすることを考えておきましょう。赤ちゃんの時はお家の人がみんなの身の回りのお世話を全部しますよね。みんなは、少しずつ成長して自分で自分のことができるようになってきました。みんなくらいの年齢になったらそろそろ別々にお風呂に入る時期です。お家の人们に色々な考えがあるかもしれません、この話を聞いてお家で話ができるんですね。

もし、お家でこわいことがあった時や安心できない時は、一人で悩まず先生に相談しましょう。内容によって、みんなの力になってくれる専門の人にも相談することができます。お家の人も正しい関わり方を知らないだけかもしれないから、ちゃんとわかってもらえるように先生も一緒に考えます。

さいご
最後に大切なことをもう一度、児童虐待はどんな場合でも子どもは決して悪くありません。今日の話を聞いて誰かに相談したい人は先生や他にもいろんな役割の大人がいるので気軽に相談しましょう。話しやすい先生に相談してくれてもいいですよ。

